

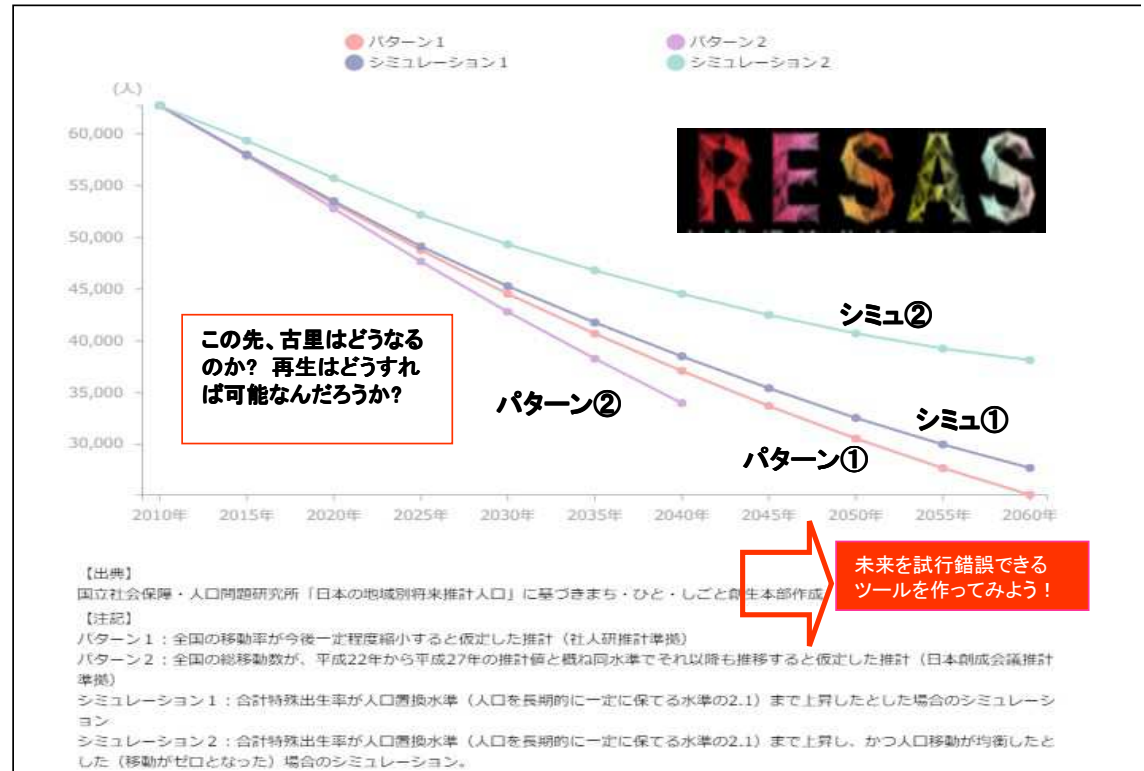
人口の減少で産業が縮小した佐渡！ 今度は産業力で人口の再生をねらおう！

～トキは再生、今度はヒト！～

1 古里の行く末

- 佐渡島は、新潟からカーフェリーで約2時間半、ジェットフォイルで約1時間ほどにある日本海の島です。面積は、東京23区の1.5倍ほどあるといわれ、人口は6万人弱です。リンゴとミカンを出荷する南限・北限の地で、また暖流と寒流がぶつかる好漁場でもあります。島は、四季がハッキリしており、島民は南北を走る山々の若葉、青菜、紅葉そして積雪で白くなっていく様をみて季節を感じています。近年は、朱鷺の島、金山の島として話題にのぼることが多くなっており、この提案もトキと金山に関連しております。
- 何年も続く人口減少。今回の応募動機は、①古里の未来を知りたい ②RESASの考え方と数値を基にして、古里再生の必要十分条件を探りたい ③これなら再生できるという方法と数値を見つけ、「ゴールから逆算する」形で必要な対応を考えてみたい ④「やってみなくちゃわからない」精神で過程をシミュレーション化して、誰もが再現したり他の施策提案をできるようにしたい...でした。

中小企業診断士 後藤一男



どの例も下降している。古里はどうなるのだろうか。消滅してしまうのだろうか。この先を知りたい。 そうだ、未来を知ると共に挽回のシミュレーションができるツールを作ってみよう！

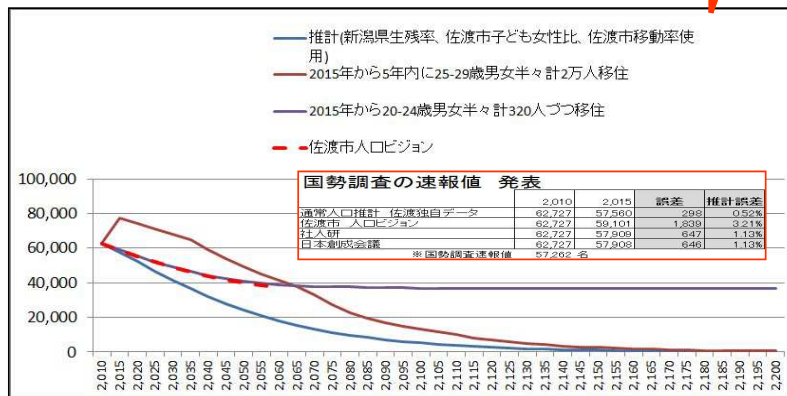
2 未来を知る ～シミュレーション結果～

2-1 2万人移住でも減少してしまう！

「推計ツール」で計算はしてみました。古里が目指す37,000人程度の人口維持には、例えば20-24歳の男女の流入に換算すれば、毎年男女半々で計320名もの流入が現在に上乗せして今後ずっと必要とわかりました。そして、その難しさは、国勢調査の速報値の比較で、既に推計誤差が最も多いことでもわかります。また、一挙に再生しようと、同条件で若者2万人を入力してみても同様でした。（これは、消滅に向かう体質の同じ地域が合併しても同じ時期に消滅はおきる...と同じことでしょう）



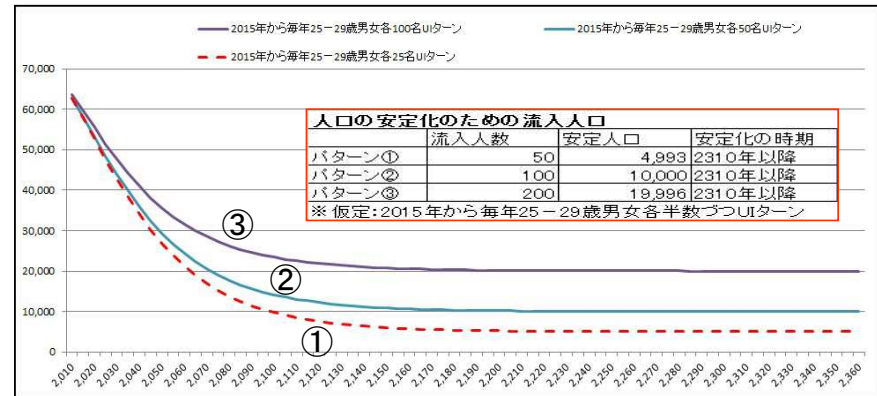
多くが言っていることと様子が少し違う？ やはり「やってみなくちゃ わからない」



出典ほか：佐渡市人口ビジョンは、公表している数値掲載。他は計算手法や仮定を含み独自に計算「資料編 p-1-3」参照

2-2 一方、僅かな人数で横ばいになる？

2015年から毎年25-29歳男女各25名の計50名流入で人口は安定化しました。つまり、今の流出率、出生率の中で、あと50名の上乗せで消滅への軌道から脱することがわかりました。さらに、100名流入、200名流入で行ってみると、安定する人数と流入には相関関係があるようでした。この結果、まず「守り」として消滅せず安定する手の届く人口を目指し、その後力に応じた目標値への「攻め」を行うことがよいと考えました。



出典ほか：・人口の安定化や仮定などは「資料編p-1～p-5」参照

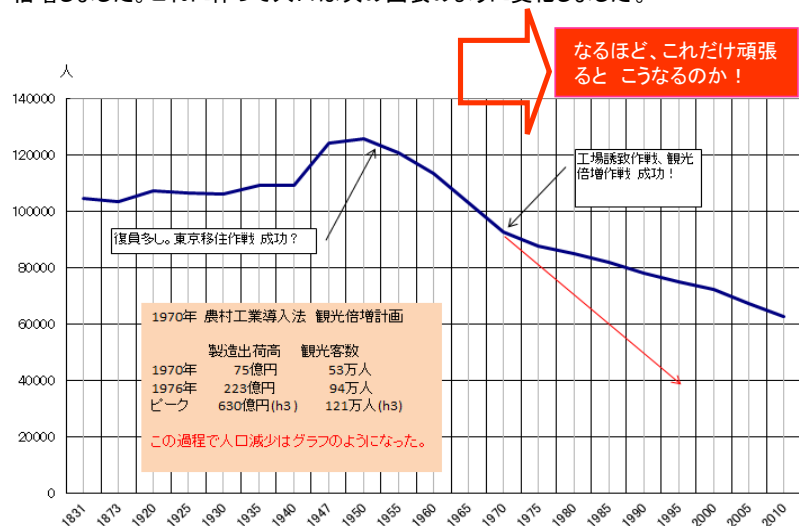
そうか！ 一挙に解決することは難しいが、僅かな人数でも流入させ続ければ人口は安定するんだ！ まず、最低人数(※1)を確保し、後は力に応じて流入数をアップする攻めだ！

※1 ここでは、提示したパターン①の50名を指します。ただし、今回の応募では、人数は考え方の提案をするために一つの目安数を提示したものです。特定の人数そのものを提案しているものではありません。（以下同様）

3 佐渡に「成功体験」があったのか知っておきたい！

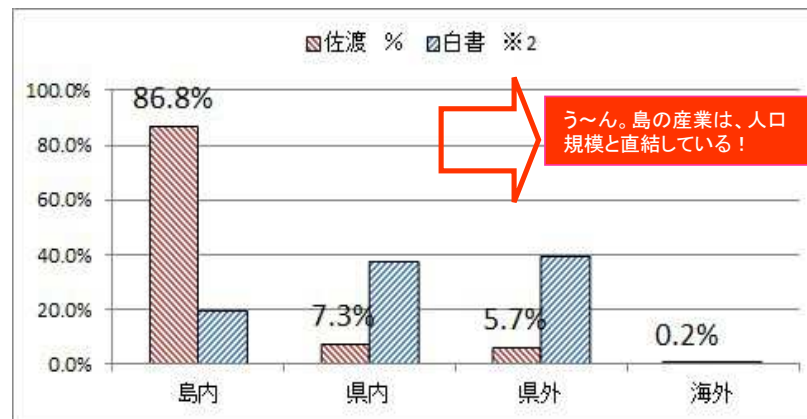
3-1 誘致企業と観光倍増計画で倍増した！

1970年に農村工業導入法(国)、観光倍増計画(県)があり、出荷高、観光数は各々倍増しました。これに伴って人口は次の図表のように変化しました。



3-2 佐渡の人口と産業は直結している！

佐渡の事業所がどこから売上しているかを質問した調査です。島内を市場としているところが次の図表のように86.8%と圧倒的に多い状況です。

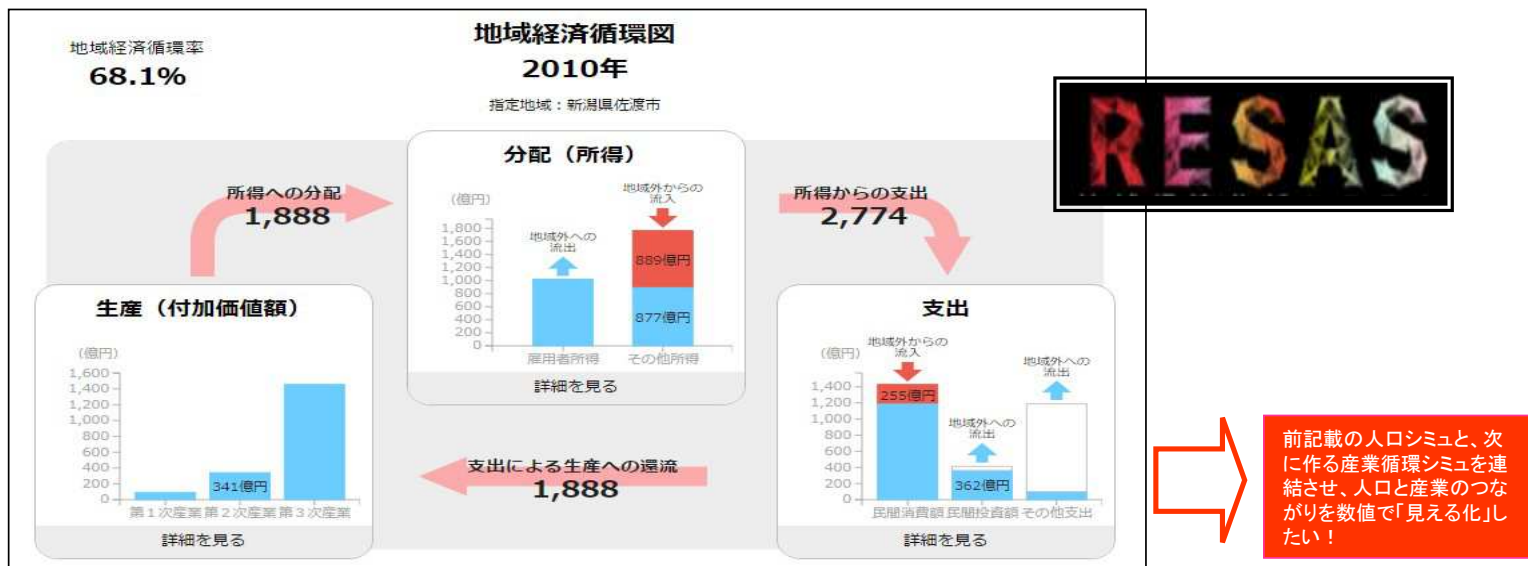


出典ほか：・佐渡連合商工会調査(h27) ・「白書」とは2014年版の中小企業白書(以下同じ) ・資料編p-5参照

なるほど、勝ち体験はあったんだ。また、島の産業と人口は直結しているから人口減少で産業も縮小してきたんだ。今度は逆に、産業の力で人口を動かす。それを考えたい！

4 佐渡の経済循環 ～人口増への必要十分条件さがし～

佐渡市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、当戦略は「人口減少対策に焦点を当てたものであり、佐渡市人口ビジョンにおいて定める将来の人口を維持するために策定する」とあります。大切なのは、それを行えば必ず目標を達成できるという必要で十分な条件(※1)をさがすこと。「2未来を知る」で使った人口シミュレーションは、男女別、年齢別、西暦別に何人の移住があれば、将来人口は何人になるがわかるツールだ。今度は、その人数を雇用するには幾らの産業おこしが必要だと知る、その雇用を若者流入でまかなうため対策を練る。これらを「ゴールから逆算する」やり方でやってみることにしました。



※1 ○年に○人の人口にするには、例えば、男女○歳の人を○年から○人流入させればよい。その人数を雇用でまかなうには○産業(複数可)ならば○円の産業おこしをすることになる...とわかることを言います。

前述の「人口シミュレーション」ツールを使えば、どれだけUIターンを増やせば人口は何人になるのかわかった。次は、その増加人口に必要な産業おこしの規模を知りたい。この経済循環をシミュレーション化してみよう！

5 産業の現状を知っておきたい

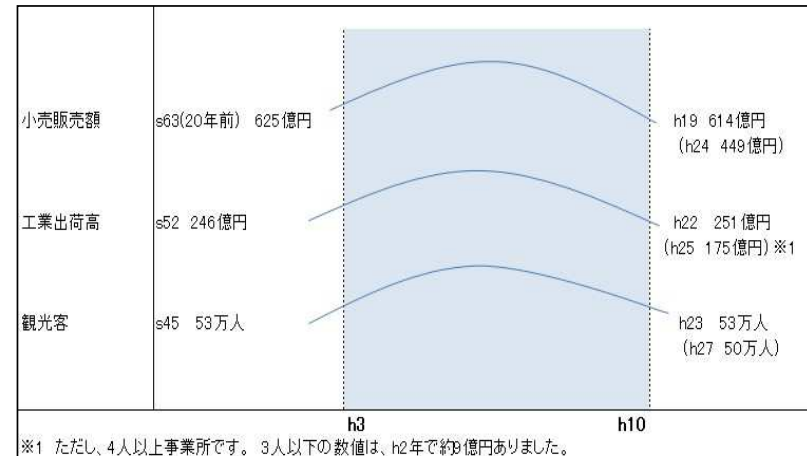
5-1売上高は1,854億円ある！

これは、佐渡に本社がある企業の合計で大きいですが、本土では一社でも達成している規模です。そういえば、ディズニーランドと売上、従業員、来場者(365日で割った一日数値と佐渡の人口)が似ていました。(資料省略)「一社でもできる」規模なんだ。そう自分に言い聞かせて策を考えたいと思います。



5-2スタートに戻ってしまった！

前記載の成功体験で飛躍的に伸びた佐渡の産業は、いわゆるバブル崩壊後、数10年前の状態に戻ってしまいました。今、新たなスタートに向け船出した「佐渡丸」。それが今日といえるかもしれません。



出典：・商業統計、工業統計、経済センサス及び佐渡市統計資料から記載

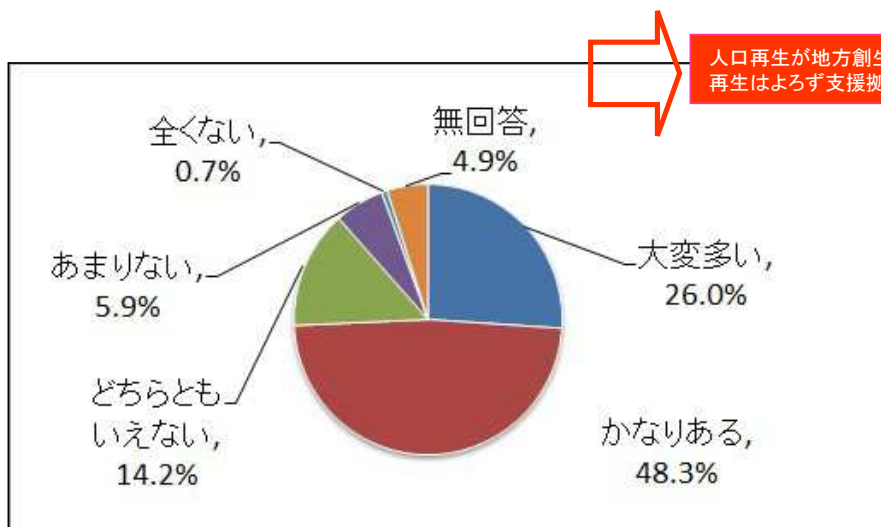
さあ出発！しかし、ちからづくの規模拡大は難しいかもしれない？

シミュレーションする前に、まず、島の産業の現状を確認しよう。実態を知り問題点を確認し、課題を明確にする流れをとろう！佐渡の産業は、再出発が必要なステージにいる。

6 個別経営の状況を知ってきたい

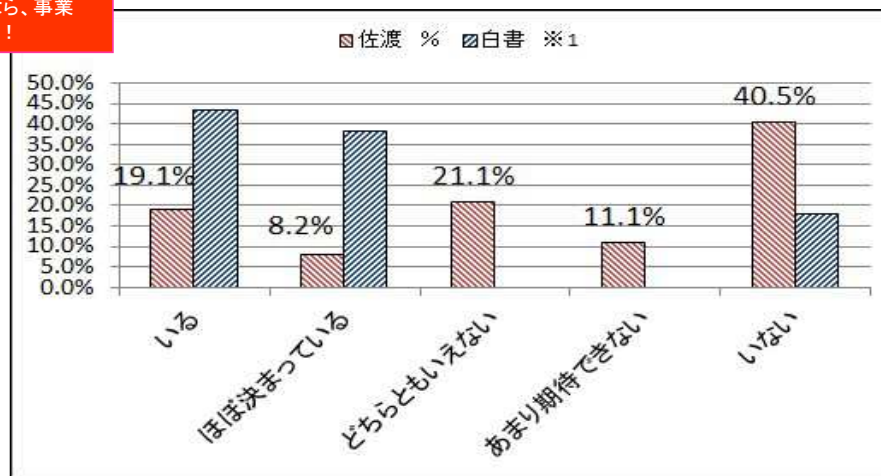
6-1 不安をもつ事業者が7割強！

「現在の経営に困ること、将来への不安なことがありますか」の質問に対して、74.3%の事業者が困りごと、不安をもっていると回答しています。



6-2 後継者ありは2割弱！

「後継者がいる」は19.1%ですが、「ほぼ決まっている」「どちらともいえない」「あまり期待できない」を加えると半数以上で可能性は残っています。私は、「よろず支援拠点で島のコーディネーターをしています。創業計画、経営改善計画、持続化補助金などの作成支援を通して、まだまだチャンスはあると思えるようになりました。」



出典ほか：・佐渡連合商工会調査(h27) ・資料編 p-4参照

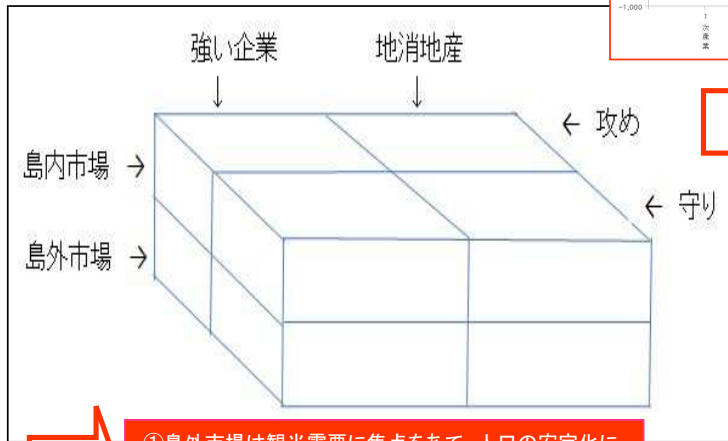
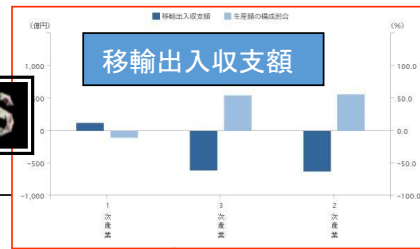
出典ほか：・佐渡連合商工会調査(h27) ・資料編p-4参照

シミュレーションする前に、まず、個別経営の現状を確認しよう。人口減少⇒産業縮小⇒業績悪化...この流れがあるから、経営の不安が出て、その結果として承継が難しくなっている。でも、チャンスはまだまだある！

7 課題

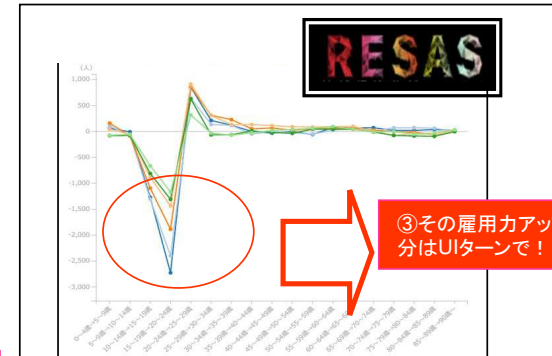
極端な島内市場に頼る産業、極端な移出入額の差、極端な若者流出、そして、思ったよりも難しかった「消滅可能性都市」軌道からの脱出。

内閣府の「選択する未来」委員会では、「やがて消失する地域に未来を描くことはきかない」としています。古里再生の視点は、ここからと判断しました。

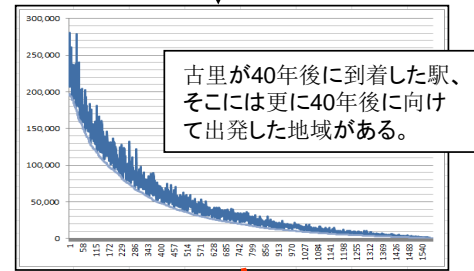


①島外市場は観光需要に焦点をあて、人口の安定化に必要な雇用数確保は強い企業で確保でき、さらに経済循環を底上げするには自給率をアップ...

②内製化。佐渡で使うものは、できるだけ佐渡で生産し雇用力をアップ...



③その雇用カアップ分はUターンで!



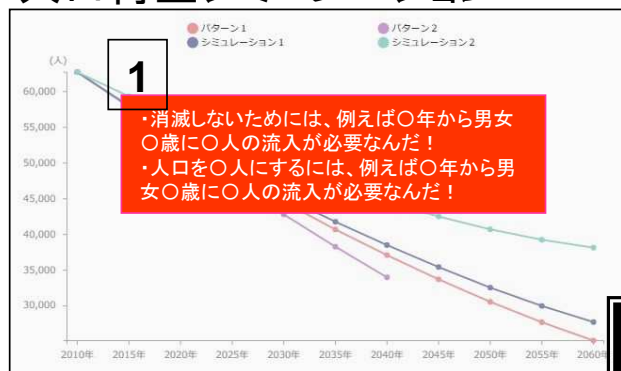
④まずは、一定の雇用確保による人口の安定化をねらう!

まずは、人口を安定化するための「守り」への継続的な雇用確保。それができたら、「攻め」あがろう！ かつて、トキ再生が辿った道！

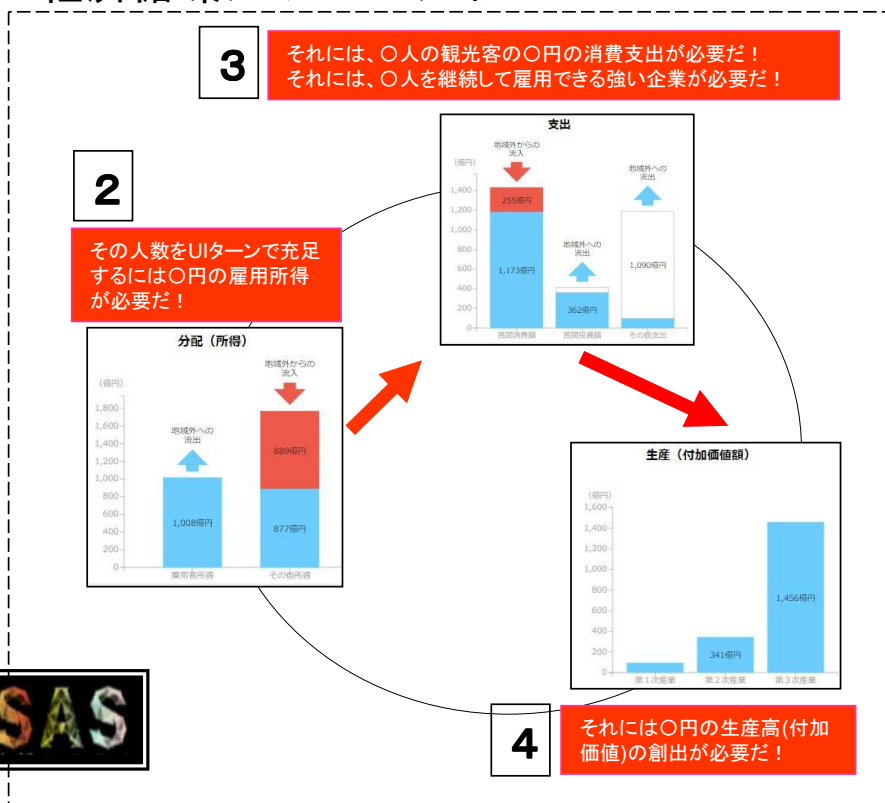
8 提案： ゴールから逆算しよう！

多くの人口対策は、どれも再生への必要条件ですが、それらをすべてクリアしたとしても目標を達成できるという十分条件とはならない場合があります。そこで、今回は既に紹介した二つのシミュレーションツールを使って、朱書き矢印のように、「ゴールから逆算する」提案をします。なお、この矢印の逆の流れは、産業おこしができない場合は、消滅又は僅かな人口にしかならないことの計算でもあります。

人口再生シミュレーション



経済循環シミュレーション



これであれば、人口増への必要十分条件としての施策づくりが可能になる。産業おこしをしたが人口は増えない場合でも、「どこができなかったのかで何人の人口増加へと結びつかなかつ」という差異分析が容易になる。

9 提案：強い企業づくり運動と地消地産運動を推進！

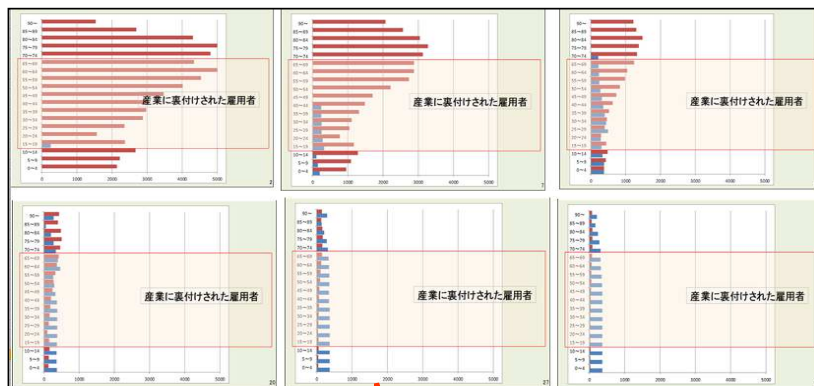
ここでいう「強い企業」とは、古里の人口減少で労働力が減少しても本土から就職にきてもらえる企業です。最低の目標は、人口の安定化の項で示した最低値「50人」が毎年就職できる企業です。複数合計でかまいません。しかし、「本土からでも常に就職してもらえる」となると難しい課題でしょう。

かつて企業誘致で佐渡に進出したどの企業も、来島してから一度は苦戦をした後、宇宙、航空、自動車、医療分野などステージに立ち、または同様の位置にある企業が目立ちます。佐渡は「金」産出があったころは、日本初の鉄船ができるなど、世界の技術が集まって来た島でもあります。

また、強い企業が地元の仕事を広げる「ハブ企業」であれば、地消地産も含めて雇用をさらに広げることができるでしょう。特に、「観光宿泊施設」は、ヒトの生活に関係して必要なものを提供するところでもあり、地元への波及が多い産業です。強い産業づくりの候補といえましょう。

9-1 人口のコアをつくる！

図表は、総人口が減少する中で、雇用に裏づけられたコアとなる人口が新たな人口ピラミッドを構成していく様子を示したものです。本来は20コマほどのアニメーションで示しているのですが、その中から6コマを抜き出しました。まず、島内労働力が減少しても本土から就職でくるほどの強い複数の企業があり、それらの企業が18-19歳年齢の島内外の若者(ここでは年間50名)の就職先となります。65歳定年になるまで、50名×5年間×11五歳区分年齢層)=2,750名の受入れをするイメージです。なお、65歳を超えた方は年金など、子どもの達は働く夫婦の子ども達です。なお、新たな就職者を、その後も島外若者(Uターン)とするならば、前記載の「人口の安定化」でみる限り、流出率、出生率は今のままでよいこととなります。(※1)



※1 資料編 p-2参照

それには〇円の生産高(付加価値)の創出が必要だ！

9-2 最低50名の雇用に必要な産業規模

下の表は、前述「経済循環シミュレーション」で雇用効果が50名になる場合の産業規模を計算したものです。なお、雇用効果が50名の近似値になるまで試行したため大よその雇用数となっています。このツールにより、古里が消失しないための最低人口流入数(ここでは50名)、または目標とする人口規模にするために必要な流入数がわかります。これで、流入雇用数と、受け入れに必要な産業おこの規模がリンクされたこととなります。差異分析の際も、どこが達成できず、人口増はどれだけできなかったのか明確になっていきます。

	7億円	2億円	4.5億円	4億円	6億円	5億円	8億円	3億円	13億円	4.5億円	3.5億円	6億円	8.5億円	9億円
農林水産業	9.44	0.03	0.70	0.08	0.10	0.13	0.09	0.07	0.08	0.08	0.07	0.17	0.15	0.44
鉱業	0.38	31.21	0.35	3.08	0.61	1.96	14.56	0.25	0.37	0.37	0.25	0.68	0.51	1.31
生活関連製造業	1.53	0.50	18.61	1.07	1.53	1.64	1.42	1.05	1.27	1.27	1.06	2.44	2.28	3.57
素材関連製造業	1.22	0.47	0.77	25.95	1.11	1.77	0.89	0.40	0.55	0.55	0.42	1.28	1.20	1.16
機械関連製造業	0.23	0.09	0.20	0.18	16.77	0.32	0.25	0.18	0.22	0.22	0.19	0.43	0.54	0.41
建設業	0.29	0.12	0.20	0.28	0.25	30.42	1.66	0.19	1.83	1.83	0.21	0.49	0.34	0.59
電力・ガス・熱供給・水道	0.34	0.15	0.34	0.56	0.69	0.37	20.36	0.28	0.32	0.32	0.27	0.74	0.51	1.64
商業	27.15	6.84	23.18	13.35	22.28	6.77	4.47	40.64	3.45	3.45	5.57	7.11	8.94	10.82
金融・保健・不動産	1.93	0.79	1.44	1.32	1.76	1.76	1.96	1.48	36.57	36.57	1.28	2.32	3.21	3.42
運輸	4.58	8.95	3.02	2.74	2.33	2.32	2.54	1.28	1.32	1.32	1.58	1.89	2.00	3.27
通信・放送	0.88	0.27	0.59	0.50	0.75	0.80	0.69	0.65	0.78	0.78	38.58	1.09	1.17	1.31
公務・公共サービス	0.64	0.26	0.56	0.69	2.25	0.81	1.00	0.51	0.74	0.74	0.59	31.33	1.22	1.34
対事業所サービス	0.82	0.61	0.78	0.70	0.92	1.29	1.54	0.62	1.40	1.40	0.70	1.08	29.02	1.31
対個人サービス	0.36	0.14	0.31	0.28	0.43	0.44	0.39	0.30	0.35	0.35	0.56	0.72	0.68	17.54
分類不明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	49.59	49.94	51.03	50.77	51.78	50.80	51.82	47.85	49.24	49.24	51.30	51.78	50.74	48.13
自給率10%アップの場合	51.48	50.72	52.82	53.36	53.67	53.67	57.09	48.38	50.04	50.53	52.07	52.90	53.17	51.06

出典ほか：-各産業の雇用者数は、波及の程度を見るため小数点以下まで明示。資料編p-6~p-8参照

まず、消滅しない安定人口への「守り」、それができたら後は人口増への「攻め」！

10 提案:トキ関連事業の産業化を行おう!

佐渡の観光産業は主要産業と言われています。しかし、その規模は、10年前で総売上高が約4000億円のとときに270億円(※1)、現在の367億円(※2)も島内売上高減少で比重は高まっていますが牽引力ある産業への未だ途上です。したがって、求められている「島民ごぞつのもてなし」も、殆どを他産業で稼ぎ出している現段階では違和感のある人々も多いでしょう。そこで、もともと島外との交流、島外販路などに関係する分野の方々が自らの活動を更に広げ、その過程で更なる関連事業が広がる方法もあると考えました。「朱鷺の分散飼育」も始まった今日、朱鷺の貴重価値だけでの見学には限界があるでしょう。

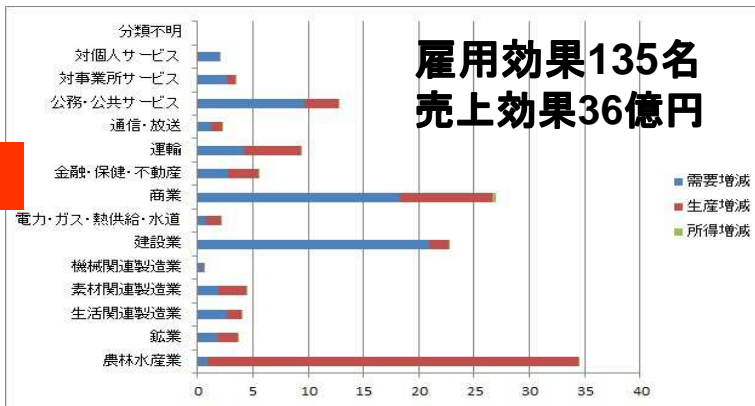
ここでは、「朱鷺」を切り口にした展開を取り上げました。次の図表は、かつて「コウノトリの経済波及効果」(資料省略)がかなりあると言われる。朱鷺の波及効果はどうかとの問いがあり、ツールを渡して計算してもらって結果をいただいたものです。売上効果36億円は佐渡において産業規模のものです。この数値には、朱鷺を目的に来島する観光客や、朱鷺関連施設で消費する金額は入っていないことを考慮すると、その売上効果はさらにアップしていると思いました。

※1 出典: 離島地域における地域産業の再生に関する研究(佐渡市 h18)

※2 出典: 佐渡市観光産業における経済波及効果(JTB h26)

項目
1 トキ認証米
2 トキ交流会館
3 トキの森公園
4 トキの里山トレッキング
5 朱鷺ガイド
6 ふれあい施設
7 トキの森公園
8 トキ保護推進事業
9 トキ交流会館
10 トキ生息環境再生事業
11 トキ交流会館
12 朱鷺保護センター
13 野生復帰ステーション
14 いきものがたり

朱鷺を切り口に関連分野を広げたい



1 観光
2 視察
3 イベント
4 修学旅行
5 研究

例: 「視察」などは、島内事業所による本社機能や関連会社、そして島外にも関係機関がある組織団体に働きかける等、業務の延長として依頼する。

観光産業で50名の雇用を増やす場合の観光客数の目安

	農林水産業	鉱業	生活関連製造業	素材関連製造業	機械関連製造業	建設業	電力・ガス・熱供給・水道	商業	金融・保健・不動産	運輸	通信・放送	公務・公共サービス	対事業所サービス	対個人サービス	分類不明	合計
1.5万人	0.65	0.73	6.20	1.24	0.29	0.38	0.82	14.13	2.39	15.24	0.88	0.88	1.46	6.67	0.00	51.97
同自給率0%増	0.71	0.78	6.62	1.58	0.32	0.40	0.84	14.85	2.57	15.57	0.93	0.92	1.69	6.70	0.00	54.55

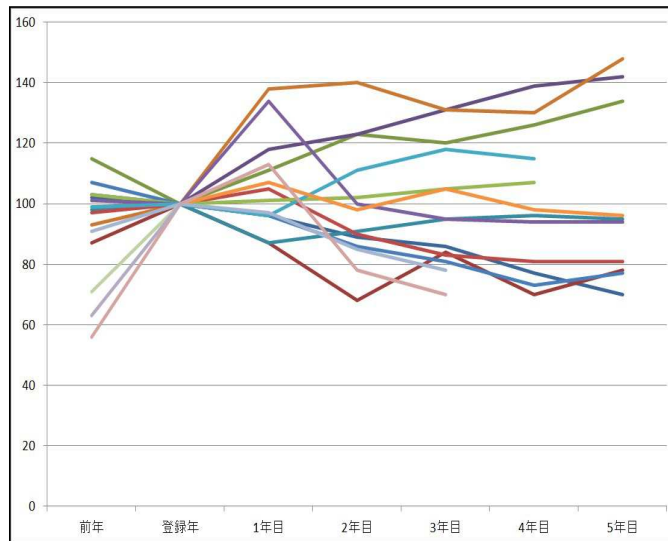
出典ほか: ・波及効果が小さい産業の雇用効果もみするため小数点以下も表示 ・資料編 p-5「トキの波及効果」参照 ・資料編 p-6~p-8「産業連関表」説明を参照
・資料編p-7「自給率シミュレーション資料」参照

朱鷺を切り口にした関連事業は、全体では一つの産業規模までに成長。さらに、トキの産業化を意識することによって、分野の広がりや規模の拡大をねらおう!

11 提案：世界遺産登録と地消地産で効果を高めよう！

次の左側のグラフは、世界遺産登録をした各地で、登録年を100として、前後の観光客数の変化を一覧化したものです。右側の図表は、前記載「経済循環シミュレーション」ツールで計算したものです。なお、現在の観光客数は約50万人です。

ここでは、一貫して人口減少が続く中で、産業規模が何十年前の振り出しに戻り、再出発しようとしている佐渡の追い風になる視点から取り上げさせてもらいました。佐渡版「創生総合戦略」では、平成31年度までに観光客17万人増を目標としていますが、一挙に達成できる「夢」でもあります。前述「観光倍増計画」の当初、佐渡観光は沖縄観光と競うように伸びてきました。(資料省略) 高い目標が達成できる仕組みづくりを考え、今一度、夢を追いたいものです。なお、右表の「同左10%増」とは、前記載の「あまりに多い島外からの移入」を意識して、自給率を一律10%アップした場合の雇用効果です。



出典：資料編 p-5参照

●観光客増加による雇用効果

	100万人	同左10%増	150万人	同左10%増	200万人	同左10%増
農林水産業	40	44	61	68	81	88
鉱業	45	51	68	76	90	102
生活関連製造業	383	409	574	614	766	819
素材関連製造業	77	98	115	146	153	195
機械関連製造業	18	20	27	30	36	40
建設業	24	25	35	37	47	50
電力・ガス・熱供給・水道	50	55	76	83	101	111
商業	873	919	1,310	1,378	1,747	1,837
金融・保健・不動産	148	159	222	239	296	318
運輸	942	983	1,412	1,444	1,883	1,926
通信・放送	54	62	82	92	109	123
公務・公共サービス	55	57	82	86	109	115
対事業所サービス	91	105	136	157	181	209
対個人サービス	412	414	618	621	824	828
分類不明	-	-	-	-	0	-
合計	3,212	3,380	4,817	5,069	6,423	6,759

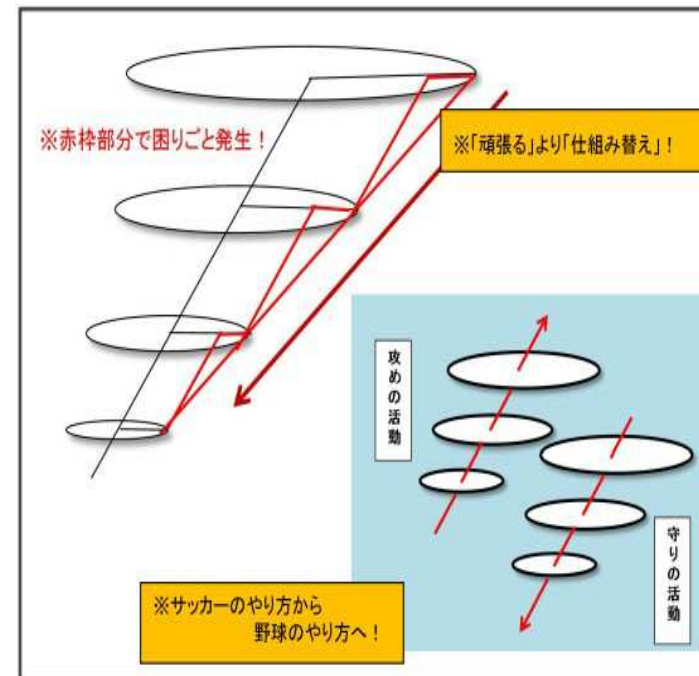
出典：資料編 p-7参照

世界遺産への期待と自給率アップの必要性

人口減少が止まる(安定化)には、Uターンが多くとも一時的では効果がなく、僅かでも、一定数の継続的な流入が必要とわかった。わかりながらも、期待する世界遺産登録！

12 提案：認識を変えよう！ 視点を変えよう！

- かつて「過疎の困ること」調査に参画(資料省略)したことがあります。根底を流れることは同じで、従前の人口より少ない人数で組織や地域を動かすために生じる「困りごと」でした。いわゆる「下りのエスカレーターをかける」ように、「活性化」の旗印のもとで走るが登り切れない状況がありました。
- しかし、古里の6万人の社会が良くて、半分の3万人の他地域が悪いわけではなく、かえって生き生きしている地域もあるでしょう。
- それであるならば、「69歳の私を30代に戻そう」的なものではなく、個人の家庭に戻れば、「一人の家庭」「夫婦の家庭」「子どもがいる家庭」それぞれの規模に応じた生活の仕組みがあり、一方で、より豊かな生活を求めるように、引き算(守り)と足し算(攻め)を区分して活動するのがよいと考えました。
- 一方、人口推計のシミュレーションでは、古里の消滅軌道からの脱出には高いハードルがありました。最も問題なのは、計画段階で、行っている対策は、全てが脱出への必要条件ですが、それを全て達成すれば必ず脱出できるという十分条件とはなっていないことです。一度でも、全てを達成したことがあると、それでも人口減少は止まらないことに気づくのですが、目標が高く到達が難しいため、「これでもか、これでもか」と繰り返すことになり、結果として達成へのPDCAサイクルとはなっていないと考えました。
- 「選択する未来」委員会では、「未来を人口に結びつけて描く」項では、ある地域を選び、就労し、結婚して家庭を築き子どもを産み育てることは個々人の意思に基づき、個々人の根本的な権利に関わるものであるとし、人口が減り続ける社会は必ず消失することになり、どのような未来も描くことはできないとあります。ゴールから逆算すると、前記載のように古里の計画の人口推計誤差が3.21%最も大きく、今のデータを基に投影したものが0.52%と少ない状況です。このことから、まず勝ち体験を優先した後、さらに高い目標(攻め)を上げていくのがよいと考えました。



スタートは、さらに必要な「健全危機感」！ そして「攻撃は最大の防御！」ではなく、「攻め」「守り」は各々分け！ 必要なのは「頑張るより仕組み替え」！

資料編 (p 1)

- ・人口推計はコーホート要因法を使用
- ・生残率、移動率、出生率は、期間内は固定して使用
 - ※これは、現在の数値で将来を投影させておき、後述のシミュレーションとの差異を明確にするため(予測値を基にした場合、その予測値自体の根拠が必要だができなかった)
- ・「人口の慣性」のため出生率など変化が生じても、数十年たないと表に出ないことがあるため2100年まで計算

・生残率は、平成22年都道府県別生命表を基に計算。その数値を各年固定化して使用

【出生率】		出生率を資料から呼び込む										生残率																				
出生率コピー		2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	年齢	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90
年齢	№	1											0	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94
15 ~	19	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94
20 ~	24												5	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94	
25 ~	29												10	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94		
30 ~	34												15	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94			
35 ~	39												20	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94				
40 ~	44												25	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94					
45 ~	49												30	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94						
子ども女性比		0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	0.04812	35	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94							

出生率を資料から呼び込む

右記「出生率」の何番を使っているか示しています。

・出生率は、h22国勢調査による
子ども女性比を使用
※以降、当応募では同じ

男女移動率を資料から呼び込む

0.5

男女移動率消去

・移動率は、h17-h22の国勢調査、出生数、前記載の生残率を基に計算
なお、生残率は同期間を平均した数値を使用

・以上の条件のもとで計算した結果。いわゆる人口推計

合計消去		※「推計開始」がクリックされると、この「合計」シートのデータはクリアされた上で計算を開始します。																			
合計消去		2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070	2075	2080	2085	2090	2095	2100	
女性	年齢	0	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94
0 ~	4	980	879	764	652	541	458	393	338	287	248	214	182	155	132	113	96	83	70	61	
5 ~	9	1097	948	851	739	631	524	443	380	327	278	239	207	176	150	128	109	93	80	68	
10 ~	14	1339	1078	931	836	726	620	514	435	373	321	273	235	203	173	147	125	107	92	79	
15 ~	19	1161	1042	839	725	650	565	482	400	338	291	250	212	183	158	135	115	98	83	71	
20 ~	24	774	657	590	475	410	368	320	273	227	191	164	141	120	104	89	76	65	55	47	
25 ~	29	1091	859	729	655	527	455	408	355	303	251	213	183	157	133	115	99	85	72	61	
30 ~	34	1411	1094	862	731	656	528	456	410	356	304	252	213	183	157	134	115	100	85	72	
35 ~	39	1405	1374	1066	839	712	639	515	445	399	347	296	246	208	178	153	130	112	97	83	
40 ~	44	1430	1375	1345	1043	821	697	626	504	435	390	339	290	240	203	174	150	127	110	95	
45 ~	49	1643	1413	1359	1329	1031	812	689	618	498	430	386	335	286	238	201	172	148	126	109	
50 ~	54	1895	1640	1411	1356	1327	1029	810	688	617	497	429	385	335	286	237	200	172	148	126	
55 ~	59	2151	1908	1651	1421	1366	1336	1036	816	692	622	500	432	388	337	288	239	202	173	149	
60 ~	64	2566	2147	1904	1648	1418	1363	1034	814	692	622	500	432	388	337	288	239	202	173	149	
65 ~	69	2265	2513	2103	1865	1614	1389	1335	1013	797	677	608	489	423	379	329	281	233	197	172	
70 ~	74	2704	2187	2030	1801	1559	1341	1289	1013	797	677	608	489	423	379	329	281	233	197	172	
75 ~	79	3106	2539	2054	2279	1907	1692	1464	1259	1211	1184	918	723	614	551	443	383	344	299	255	
80 ~	84	2660	2706	2213	1790	1986	1661	1474	1275	1097	1055	1032	800	630	535	480	386	334	300	260	
85 ~	89	1861	2076	2113	1727	1397	1550	1297	1151	996	856	824	806	625	492	417	375	302	261	234	
90 ~	94	1171	1490	1752	1899	1781	1562	1529	1388	1247	1102	962	877	827	713	592	496	428	358	304	
計		32,710	29,925	26,964	24,039	21,302	18,807	16,465	14,364	12,491	10,833	9,358	8,028	6,837	5,822	4,969	4,248	3,637	3,114	2,669	
男性	年齢	0	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94
0 ~	4	1165	955	829	709	587	496	427	367	312	269	232	198	169	143	122	105	90	77	66	
5 ~	9	1129	1123	921	799	683	566	479	412	354	301	260	224	191	163	138	118	101	87	74	
10 ~	14	1331	1097	1091	895	777	664	550	465	400	344	292	252	217	186	158	134	115	98	84	
15 ~	19	1204	1041	858	754	700	609	519	430	364	313	269	229	197	170	145	124	105	90	77	
20 ~	24	789	699	604	498	495	406	353	301	250	211	182	156	133	115	99	84	72	61	52	
25 ~	29	1267	945	837	724	596	523	486	422	361	299	253	218	187	159	137	118	101	86	73	
30 ~	34	1472	1229	916	811	702	578	575	472	409	350	290	245	211	181	154	133	115	98	83	
35 ~	39	1565	1428	1192	889	787	681	561	558	458	397	339	281	238	205	176	149	129	111	95	
40 ~	44	1583	1554	1418	1183	882	782	676	557	554	454	394	337	279	236	203	175	148	128	110	
45 ~	49	1835	1593	1564	1427	1191	888	787	680	561	558	457	397	339	281	238	205	176	149	129	
50 ~	54	2126	1830	1589	1560	1423	1188	886	784	678	559	556	456	396	338	280	237	204	175	149	
55 ~	59	2390	2094	1802	1565	1536	1402	1170	872	773	668	551	548	449	390	333	276	233	201	173	
60 ~	64	2826	2361	2069	1780	1546	1408	1385	1156	862	763	660	544	541	444	385	329	273	231	199	
65 ~	69	2071	2729	2280	1997	1719	1493	1465	1337	1116	832	737	637	525	522	428	372	318	263	223	
70 ~	74	2108	1892	2493	2083	1825	1571	1364	1339	1222	1020	760	673	582	480	477	391	340	290	241	
75 ~	79	2302	1830	1643	2165	1808	1584	1364	1184	1162	1061	885	660	585	506	417	414	340	295	252	
80 ~	84	1653	1765	1404	1260	1660	1387	1215	1046	908	891	679	506	448	388	319	318	261	226	226	
85 ~	89	833	1017	1086	863	775	1021	853	747	643	558	548	500	417	311	276	238	196	195	160	
90 ~	94	368	454	556	621	562	505	577	541	487	428	373	348	321	279	223	189	162	135	125	
計		30,017	27,636	25,152	22,683	20,254	17,930	15,692	13,670	11,874	10,276	8,851	7,582	6,483	5,557	4,777	4,110	3,536	3,031	2,591	
合計	年齢	0	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94
0 ~	4	2145	1834	1593	1361	1128	954	820	705	599	517	446	380	324	275	235	201	173	147	127	
5 ~	9	2226	2071	1772	1538	1314	1090	922	792	681	579	499	431	367	313	266	227	194	167	142	
10 ~	14	2670	2175	2022	1731	1503	1284	1064	900	773	665	565	487	420	359	305	259	222	190	163	
15 ~	19	2365	2083	1697	1579	1350	1172	1001	830	702	604	519	441	380	328	280	239	203	173	148	
20 ~	24	1563	1356	1194	973	905	774	673	574	477	402	346	297	253	219	188	160	137	116	99	
25 ~	29	2358	1804	1566	1379	1123	1048	894	777	664	550	466	401	344	292	252	217	186	158	134	
30 ~	34	2883	2323	1778	1542	1358	1106	1031	882	765	654	542	458	394	338	288	248	215	183	155	
35 ~	39	2970	2802	2258	1728	1499	1320	1076	1003	857	744	635	527	446	383	329	279	241	208	178	
40																					

資料編 (p 3)

男性

年齢	年	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0 ~ 4		0	0	1218	1215	1211	1306	159	222	294	264	281
5 ~ 9		0	0	0	1175	1171	1167	1259	153	214	283	255
10 ~ 14		0	0	0	0	1141	1138	1134	1223	149	208	275
15 ~ 19		0	0	0	0	0	893	890	887	957	116	163
20 ~ 24		0	0	0	0	0	0	518	516	515	555	67
25 ~ 29		0	10000	0	0	0	0	0	620	618	616	665
30 ~ 34		0	0	9959	0	0	0	0	0	602	600	598
35 ~ 39		0	0	0	9908	0	0	0	0	0	584	582
40 ~ 44		0	0	0	0	9841	0	0	0	0	0	579
45 ~ 49		0	0	0	0	0	9745	0	0	0	0	0
50 ~ 54		0	0	0	0	0	0	9590	0	0	0	0
55 ~ 59		0	0	0	0	0	0	0	9347	0	0	0
60 ~ 64		0	0	0	0	0	0	0	0	9016	0	0
65 ~ 69		0	0	0	0	0	0	0	0	0	8531	0
70 ~ 74		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7815
75 ~ 79		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80 ~ 84		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85 ~ 89		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90 ~		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	10,000	11,177	12,298	13,364	14,249	13,550	12,968	12,365	11,757	11,280

合計

年齢	年	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0 ~ 4		0	0	2342	2337	2328	2511	306	426	565	508	540
5 ~ 9		0	0	0	2263	2256	2247	2425	295	412	545	491
10 ~ 14		0	0	0	0	2209	2204	2195	2368	288	402	532
15 ~ 19		0	0	0	0	0	1725	1719	1713	1848	224	314
20 ~ 24		0	0	0	0	0	0	989	985	982	1059	128
25 ~ 29		0	20000	0	0	0	0	0	1142	1139	1135	1225
30 ~ 34		0	0	19942	0	0	0	0	0	1126	1122	1118
35 ~ 39		0	0	0	19863	0	0	0	0	0	1094	1091
40 ~ 44		0	0	0	0	19759	0	0	0	0	0	1078
45 ~ 49		0	0	0	0	0	19617	0	0	0	0	0
50 ~ 54		0	0	0	0	0	0	19394	0	0	0	0
55 ~ 59		0	0	0	0	0	0	0	19047	0	0	0
60 ~ 64		0	0	0	0	0	0	0	0	18581	0	0
65 ~ 69		0	0	0	0	0	0	0	0	0	17894	0
70 ~ 74		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16876
75 ~ 79		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80 ~ 84		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85 ~ 89		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90 ~		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	20000	22284	24463	26552	28304	27028	25976	24941	23983	23393

この間を省略

	2270	2275	2280	2285	2290	2295	2300	2305	2310
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	1	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	1	0	0	0	0	0
	1	1	1	1	1	0	0	0	0
	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	13	11	9	6	4	3	2	1	0

	2270	2275	2280	2285	2290	2295	2300	2305	2310
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	1	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	2	2	1	0	0	0	0	0	0
	2	2	2	1	0	0	0	0	0
	2	2	2	2	1	0	0	0	0
	3	2	2	2	2	1	0	0	0
	3	2	2	2	2	2	1	0	0
	2	2	2	1	1	1	1	1	0
	3	3	3	1	1	1	1	1	1
	26	20	17	12	9	7	5	3	1

(合計) 人口推計の基本部分(p-1、p-2)と移住者のシミュレーション部分(p-2、p-3)の合計

女性

年齢	年	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0 ~ 4		990	879	1888	1774	1658	1663	540	542	558	492	473
5 ~ 9		1097	948	851	1827	1716	1604	1609	522	525	540	475
10 ~ 14		1339	1078	931	836	1794	1686	1575	1580	512	515	530
15 ~ 19		1161	1042	839	725	650	1397	1311	1226	1229	399	401
20 ~ 24		774	657	590	475	410	368	791	742	694	695	225
25 ~ 29		1091	10859	729	655	527	455	408	877	824	770	773
30 ~ 34		1411	1094	10845	731	656	528	456	410	880	826	772
35 ~ 39		1405	1374	1066	10794	712	639	515	445	399	857	805
40 ~ 44		1430	1375	1345	1043	10739	697	626	504	435	390	838
45 ~ 49		1643	1413	1359	1329	1031	10684	689	618	498	430	386
50 ~ 54		1895	1640	1411	1356	1327	1029	10614	688	617	497	429
55 ~ 59		2151	1908	1651	1421	1366	1336	1036	10516	692	622	500
60 ~ 64		2566	2147	1904	1648	1418	1363	1333	1034	10379	691	620
65 ~ 69		2265	2513	2103	1865	1614	1389	1335	1306	1013	10160	677
70 ~ 74		2704	2187	2427	2030	1801	1559	1341	1289	1261	978	9831
75 ~ 79		3106	2539	2054	2279	1907	1692	1464	1259	1211	1184	918
80 ~ 84		2660	2706	2213	1790	1986	1661	1474	1275	1097	1055	1032
85 ~ 89		1861	2076	2113	1727	1397	1550	1297	1151	996	856	824
90 ~		1171	1490	1752	1899	1781	1562	1529	1388	1247	1102	962
計		32,710	39,925	38,071	36,204	34,490	32,862	29,943	27,372	25,067	23,059	21,471

男性

年齢	年	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0 ~ 4		1165	955	2047	1924	1798	1802	586	589	606	533	513
5 ~ 9		1129	1123	921	1974	1854	1733	1738	565	568	584	515
10 ~ 14		1331	1097	1091	895	1918	1802	1684	1688	549	552	567
15 ~ 19		1204	1041	858	854	700	1500	1409	1317	1321	429	432
20 ~ 24		789	699	604	498	495	406	871	817	765	766	249
25 ~ 29		1267	10945	837	724	596	593	486	1042	979	915	918
30 ~ 34		1472	1229	10875	811	702	578	575	472	1011	950	888
35 ~ 39		1565	1428	1192	10797	787	681	561	558	981	921	921
40 ~ 44		1583	1554	1418	1183	10723	782	676	557	554	454	973
45 ~ 49		1835	1593	1564	1427	1191	10633	787	680	561	558	457
50 ~ 54		2126	1830	1589	1560	1423	1188	10476	784	678	559	556
55 ~ 59		2390	2094	1802	1565	1536	1402	1170	10219	773	668	551
60 ~ 64		2826	2361	2069	1780	1546	1518	1385	1156	9878	763	660
65 ~ 69		2071	2729	2280	1997	1719	1493	1465	1337	1116	9363	737
70 ~ 74		2108	1892	2493	2083	1825	1571	1364	1339	1222	1020	8575
75 ~ 79		2302	1830	1643	2165	1808	1584	1364	1184	1162	1061	885
80 ~ 84		1653	1765	1404	1260	1660	1387	1215	1046	908	891	813
85 ~ 89		833	1017	1086	863	775	1021	853	747	643	558	548
90 ~		368	454	556	621	562	505	577	541	487	428	373
計		30,017	37,636	36,329	34,981	33,618	32,179	29,242	26,638	24,239	22,033	20,131

合計

年齢	年	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0 ~ 4		2145	1834	3935	3698	3456	3465	1126	1131	1164	1025	986
5 ~ 9		2226	2071	1772	3801	3570	3337	3347	1087	1093	1124	990
10 ~ 14		2670	2175	2022	1731	3712	3488	3259	3268	1061	1067	1097

資料編（p 6）

・国立社会保障・人口問題研究所の「将来人口推計」サイトの数値を基に集約

	2010年	2040年		2010年	2040年		2010年	2040年		2010年	2040年		2010年	2040年
13105 文京区	206.626	197.810	11230 新座市	158.777	150.719	8203 土浦市	143.839	117.737	11217 鴻巣市	119.639	96.708	33203 津山市	106.788	79.874
35201 下関市	280.947	197.301	40106 小倉北区	181.936	149.445	13210 小金井市	118.852	117.461	12127 江別市	123.722	96.503	20205 飯田市	105.335	79.860
14212 厚木市	224.420	195.414	26103 左京区	168.802	149.251	1206 釧路市	181.169	117.348	45203 延岡市	131.182	96.145	9205 鹿沼市	102.348	79.848
28109 北区	226.836	194.620	14204 鎌倉市	174.314	148.992	22214 藤枝市	142.151	117.153	23107 昭和区	105.536	96.141	40202 大牟田市	123.638	78.862
11219 上尾市	223.926	194.299	23213 西尾市	165.298	148.846	27220 箕面市	129.895	116.913	40217 筑紫野市	100.172	95.774	10203 桐生市	121.704	78.242
40137 早良区	211.553	194.074	14211 秦野市	170.145	148.001	26110 山科区	136.045	116.912	22213 掛川市	116.363	95.595	20220 安曇野市	96.479	78.208
10205 太田市	216.465	194.005	12103 稲毛区	157.768	146.833	13214 国分寺市	120.650	116.624	41202 唐津市	126.926	95.370	28106 長田区	101.624	77.994
42202 佐世保市	261.101	193.949	27114 東淀川区	176.585	146.342	34106 安佐北区	149.633	115.433	27125 住之江区	127.210	95.093	22209 島田市	100.276	77.936
28101 東灘区	210.408	193.593	12220 滝山市	163.984	145.255	27209 守口市	146.697	114.981	26104 中京区	105.306	94.952	8227 筑西市	108.527	77.545
10204 伊勢崎市	207.221	192.986	22203 沼津市	202.304	145.140	34101 中区	130.482	114.096	11235 富士見市	106.736	94.892	27216 河内長野市	112.490	77.474
4104 太白区	220.588	191.680	1213 苫小牧市	173.320	143.889	11218 深谷市	144.618	113.516	27217 松原市	124.594	94.521	27208 貝塚市	90.519	77.368
41201 佐賀市	237.506	191.619	23210 刈谷市	145.781	143.600	38202 今治市	166.532	113.071	38205 新居浜市	121.735	94.403	46215 薩摩川内市	99.589	77.359
12221 八千代市	189.781	189.253	23116 天白区	158.793	142.972	35215 周南市	149.487	112.771	27222 羽曳野市	117.681	94.368	23226 尾張旭市	81.140	77.053
4105 泉区	211.183	188.858	8221 ひたちなか市	157.060	142.864	23220 稲沢市	138.442	111.867	27102 都島区	102.632	94.178	3206 北上市	93.138	76.729
13229 西東京市	196.511	188.539	8202 日立市	193.129	141.142	14216 座間市	129.436	111.805	28105 兵庫区	108.304	94.163	18210 坂井市	91.900	76.544
24207 鈴鹿市	199.293	188.440	14116 泉区	155.698	140.903	46218 霧島市	127.487	111.767	6203 鶴岡市	136.623	94.090	34107 安芸区	78.789	76.325
1105 豊平区	212.118	188.412	45202 都城市	169.602	139.161	23205 半田市	118.828	111.405	37202 丸亀市	110.473	93.882	23237 あま市	86.714	76.171
40107 小倉南区	214.793	186.953	12102 花見川区	180.949	138.717	29209 生駒市	118.113	111.219	43202 八代市	132.266	93.053	23224 知多市	84.768	75.765
34212 東広島市	190.135	186.490	12106 美浜区	150.162	138.694	23112 南区	141.310	110.713	40219 大野城市	95.087	93.002	16211 射水市	93.588	75.626
1107 西区	211.229	185.573	23103 北区	165.785	138.543	8204 古河市	142.995	109.863	24203 伊勢市	130.271	92.500	26209 甲賀市	92.704	75.552
11214 春日部市	237.171	184.796	12212 佐倉市	172.183	138.162	42204 諫早市	140.752	109.252	11239 坂戸市	101.700	91.764	15204 三条市	102.292	75.546
14111 港南区	221.411	182.845	32203 出雲市	171.485	138.028	23204 瀬戸市	132.224	109.092	47205 宜野湾市	91.928	91.681	28216 高砂市	93.901	75.518
1104 白石区	204.259	181.987	12208 野田市	155.491	137.448	22207 富士宮市	132.001	109.043	14103 西区	94.867	91.601	26102 上京区	83.264	74.677
14106 保土ヶ谷区	206.634	180.735	14104 中区	146.033	137.103	4202 石巻市	160.826	109.021	11210 加須市	115.002	91.515	12228 四街道市	86.726	74.504
28108 垂水区	220.411	180.691	24204 松阪市	168.017	136.668	8202 足利市	154.530	108.593	27119 阿倍野区	106.350	90.525	27128 中央区	78.687	74.456
28207 伊丹市	196.127	180.352	14107 磯子区	163.237	135.807	1110 清田区	116.619	108.520	1208 北見市	125.889	90.284	21205 関市	91.418	74.150
13113 渋谷区	204.492	178.755	22211 磐田市	168.625	135.621	14114 瀬谷区	126.913	107.569	9204 佐野市	121.249	90.228	23106 中区	78.353	73.936
27215 寝屋川市	238.204	178.361	21202 大垣市	161.160	133.203	9213 那須塩原市	117.812	107.484	27113 西淀川区	97.504	90.193	1203 小樽市	131.928	73.841
26108 右京区	202.943	177.624	1207 帯広市	168.057	131.201	29205 櫻原市	125.605	106.738	27213 泉佐野市	100.801	89.989	14218 綾瀬市	83.167	73.570
40133 中央区	178.429	177.501	23104 西区	144.995	131.000	14115 栄区	124.866	106.677	23108 瑞穂区	105.061	89.987	26206 亀岡市	92.399	73.056
27219 和泉市	184.988	177.156	2202 弘前市	147.432	130.978	9203 栃木市	145.783	106.646	22206 三島市	111.838	89.506	25204 近江八幡市	81.738	73.051
14108 金沢区	209.274	175.236	28107 須磨区	167.475	129.385	27218 大東市	127.534	105.428	34213 廿日市市	114.038	89.410	40101 門司区	104.469	72.753
1202 函館市	279.127	174.769	35202 宇部市	173.772	128.870	23222 東海市	107.690	105.397	38206 西条市	112.091	89.273	12210 茂原市	93.015	72.519
34104 西区	186.985	173.814	11227 朝霞市	129.691	128.399	40205 飯塚市	131.492	104.962	8232 神栖市	94.795	89.007	13215 国立市	75.510	72.449
2203 八戸市	237.615	172.744	13224 多摩市	147.648	127.469	25203 長浜市	124.131	104.646	40218 春日市	106.780	89.972	34204 三原市	100.509	72.176
13211 小平市	187.035	169.464	28102 灘区	133.451	127.063	34102 東区	120.751	104.157	1224 千歳市	93.604	88.678	15206 新発田市	101.202	71.988
32201 松江市	208.613	168.173	16202 高岡市	176.061	126.920	13205 青梅市	139.339	104.094	17203 小松市	108.433	88.528	27115 東成区	80.231	71.741
27126 平野区	200.005	166.910	28111 西京区	152.974	126.661	12224 鎌ヶ谷市	107.853	103.974	46203 鹿屋市	105.070	87.659	3205 花巻市	101.438	71.618
13212 日野市	180.052	166.119	23219 小牧市	147.132	126.477	12206 木更津市	129.312	103.874	26107 南区	98.744	87.513	26209 長岡京市	79.844	71.455
19201 甲府市	198.992	163.952	27120 住吉区	155.572	125.820	1108 厚別区	128.492	103.815	28206 芦屋市	93.238	87.240	6204 酒田市	111.151	71.170
27202 岸和田市	199.234	163.800	11225 入間市	149.872	125.620	4215 大崎市	135.147	103.150	42205 大村市	90.517	87.076	27117 旭区	92.455	70.940
35203 山口市	196.628	162.067	21213 各務原市	145.604	125.372	12222 我孫子市	134.017	103.121	14214 伊勢原市	101.039	86.908	44203 中津市	84.312	70.757
34202 呉市	239.973	161.954	1109 手稲区	139.644	125.264	26101 北区	122.037	103.103	22215 御殿場市	89.030	86.304	24216 伊賀市	97.207	70.577
13202 立川市	179.668	161.708	12104 若葉区	151.585	124.356	25202 彦根市	112.156	102.940	3215 奥州市	124.746	86.231	11234 八潮市	82.977	70.342
14105 南区	196.153	161.574	28217 川西市	156.423	124.133	1106 南区	146.341	102.919	27214 富田林市	119.576	85.885	11212 東松山市	90.099	70.258
12227 浦安市	164.877	160.758	34108 佐伯区	135.280	122.645	34205 尾道市	145.202	102.790	20217 佐久市	100.552	85.781	9209 真岡市	82.289	69.960
11202 熊谷市	203.180	160.453	13203 武蔵野市	138.734	122.592	27116 生野区	134.009	100.909	12231 印西市	88.176	85.303	8208 龍ヶ崎市	80.334	69.589
23101 千種区	160.015	158.943	23111 港区	149.215	122.423	35208 岩国市	143.857	100.673	21204 多治見市	112.595	84.893	13228 あきる野市	80.868	69.012
23207 豊川市	181.928	158.772	4103 若林区	132.306	122.319	27223 門真市	130.282	100.592	23217 江南市	99.730	84.232	27224 摂津市	83.720	68.237
14206 小田原市	198.327	158.291	24205 桑名市	140.290	122.202	27121 東住吉区	130.724	100.170	27204 池田市	104.229	84.125	23225 知立市	68.398	68.148
26204 宇治市	189.609	158.044	11215 狭山市	155.727	121.481	13207 昭島市	112.297	99.565	40220 宗像市	95.501	83.550	27107 港区	84.947	67.488
27118 城東区	165.832	157.752	34103 南区	138.190	121.451	28219 三田市	114.218	99.154	40230 糸島市	98.435	83.311	21203 高山市	92.747	67.393
13106 台東区	175.928	157.240	11232 久喜市	154.310	121.383	44202 別府市	125.385	98.570	3209 一関市	127.842	82.277	13219 狛江市	78.751	67.053
12216 習志野市	164.530	156.363	40136 城南区	128.659	121.184	13222 東久留米市	116.546	98.489	21214 可児市	97.436	81.849	23214 蒲郡市	82.249	66.959
31201 鳥取市	197.449	156.133	20203 上田市	159.597	120.927	11237 三郷市	131.415	98.271	22216 袋井市	84.846	81.491	38213 四国中央市	90.187	66.687
27123 淀川区	172.078	156.131	31202 米子市	148.271	120.184	11245 ふじみ野市	105.695	98.242	8217 取手市	109.651	81.000	18209 越前市	85.614	66.651
15222 上越市	203.899	155.979	22212 焼津市	143.249	119.186	35206 防府市	116.611	97.837	23234 北名古屋市	81.571	80.979	26202 舞鶴市	88.669	66.522
23115 名東区	161.012	154.860	14215 海老名市	127.707	118.981	17210 白山市	110.459	97.028	13220 東大和市	83.068	80.270	27122 西成区	121.972	66.381
9208 小山市	164.454	151.725	23105 中村区	136.164	118.819	25213 東近江市	115.479	96.792	8219 牛久市	81.684	80.127	23215 犬山市	75.198	66.000

以下の市町村を略

- ・この応募で使った産業連関表は、「離島地域における地域産業の再生に関する研究」(佐渡市、財・地方自治研究機構、h19.3)に基づいている。
- ・この応募で使った経済波及効果シミュレーションは、青森県の「産業連関分析(波及効果計算)シート」を基にして、佐渡市における以下のデータを入れ替えたものであり、佐渡のデータがない部分は、同シートを加工。なお、青森県は、使用する場合は、前記載のようなことを付記することで承諾をもらった。
- ・また、佐渡市では、現在、新しいデータに基づく産業連関表づくりに着手している。
- ・さらに、産業連関表を使った結果の「雇用効果」は、産業全体の効果のため、個別産業では目標とする雇用者数に達しない場合が多いと考えられる。この点について施策による雇用増加策を設けるなどがあるが、ここでは言及しない。

2000年佐渡市産業連関表(15部門)逆行列係数表

コ ー ド	産業部門	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	行和
		農林水産業	鉱業	生活関連 製造業	素材関連 製造業	機械関連 製造業	建設	電力・ガス・ 熱供給・ 水道	商業	金融・保険・ 不動産	運輸	通信・放送	公務・公共 サービス	対事業所 サービス	対個人 サービス	分類不明	
01	農林水産業	1.052802	0.000680	0.121155	0.003377	0.000620	0.003965	0.000636	0.000864								

資料編 (p 7)

2000年佐波市産業連関表 (15部門) 投入係数表

コ ド	産業部門	01 農林水産業	02 鉱業	03 生活関連 製造業	04 素材関連 製造業	05 機械関連 製造業	06 建設	07 電力・ガス・ 熱供給・ 水道	08 商業	09 金融・保険・ 不動産	10 運輸	11 通信・放送	12 公務・公共 サービス	13 対事業所 サービス	14 対個人 サービス	15 分類不明	19 内生部門計 (01~15)
01	農林水産業	0.0729	0.0000	0.1646	0.0031	0.0000	0.0042	0.0000	0.0001	0.0000	0.0000	0.0000	0.0019	0.0000	0.0209	0.0000	0.0142
02	鉱業	0.0000	0.0001	0.0004	0.0526	0.0000	0.0199	0.1113	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0004	0.0087
03	生活関連製造業	0.0469	0.0164	0.1931	0.0336	0.0140	0.0315	0.0149	0.0255	0.0088	0.0114	0.0157	0.0317	0.0169	0.1238	0.0359	0.0401
04	素材関連製造業	0.0746	0.0192	0.0513	0.2571	0.0674	0.1448	0.0207	0.0056	0.0014	0.1445	0.0037	0.0450	0.0285	0.0154	0.0459	0.0638
05	機械関連製造業	0.0154	0.0239	0.0128	0.0147	0.2206	0.0653	0.0015	0.0039	0.0002	0.0136	0.0020	0.0065	0.1291	0.0025	0.0162	0.0351
06	建設	0.0027	0.0052	0.0013	0.0060	0.0010	0.0012	0.0292	0.0038	0.0207	0.0040	0.0044	0.0073	0.0017	0.0042	0.0000	0.0066
07	電力・ガス・熱供給・水道	0.0036	0.0174	0.0131	0.0446	0.0331	0.0083	0.0540	0.0164	0.0031	0.0085	0.0103	0.0259	0.0076	0.0558	0.1040	0.0205
08	商業	0.0384	0.0149	0.0772	0.0502	0.0460	0.0641	0.0107	0.0127	0.0019	0.0500	0.0052	0.0234	0.0401	0.0604	0.0218	0.0363
09	金融・保険・不動産	0.0262	0.0477	0.0111	0.0263	0.0067	0.0208	0.0286	0.0709	0.0558	0.0595	0.0304	0.0107	0.0523	0.0516	0.1326	0.0341
10	運輸	0.0356	0.3570	0.0345	0.0507	0.0121	0.0497	0.0238	0.0412	0.0073	0.0934	0.0435	0.0175	0.0151	0.0362	0.0650	0.0337
11	通信・放送	0.0014	0.0056	0.0024	0.0036	0.0025	0.0106	0.0048	0.0243	0.0064	0.0069	0.0496	0.0085	0.0098	0.0121	0.0236	0.0093
12	公務・公共サービス	0.0006	0.0020	0.0019	0.0128	0.0659	0.0026	0.0078	0.0012	0.0013	0.0019	0.0054	0.0060	0.0035	0.0050	0.1794	0.0083
13	対事業所サービス	0.0122	0.0311	0.0426	0.0429	0.0381	0.0995	0.0753	0.0674	0.0453	0.2078	0.0679	0.0500	0.0918	0.0350	0.0703	0.0650
14	対個人サービス	0.0004	0.0002	0.0002	0.0003	0.0002	0.0009	0.0005	0.0017	0.0006	0.0006	0.0604	0.0064	0.0021	0.0196	0.0088	0.0038
15	分類不明	0.0033	0.0084	0.0037	0.0040	0.0011	0.0070	0.0074	0.0091	0.0106	0.0072	0.0062	0.0013	0.0049	0.0031	0.0000	0.0053
19	内生部門計(01~15)	0.3362	0.5490	0.6101	0.6024	0.5105	0.5302	0.3903	0.2838	0.1634	0.6092	0.3047	0.2422	0.4036	0.4456	0.7039	0.3847
21	家計外消費支出(行)	0.0129	0.0358	0.0161	0.0202	0.0175	0.0119	0.0225	0.0222	0.0102	0.0177	0.0288	0.0137	0.0252	0.0242	0.0225	0.0164
22	雇用手所得	0.1200	0.1816	0.1870	0.2232	0.2336	0.3591	0.1623	0.4345	0.0968	0.2174	0.3555	0.5139	0.3169	0.2852	0.0551	0.3074
23	営業余剰	0.3585	0.1264	0.1223	0.0538	0.0405	0.0076	0.1872	0.1602	0.4191	0.0791	0.1846	0.0135	0.0989	0.1159	0.1041	0.1269
24	資本減耗引当	0.1262	0.0617	0.0351	0.0648	0.1681	0.0485	0.1875	0.0521	0.2892	0.0519	0.0991	0.2213	0.1226	0.0614	0.1011	0.1335
25	間接税(除関税・輸入品商税率)	0.0516	0.0461	0.0426	0.0361	0.0301	0.0480	0.0586	0.0492	0.0510	0.0313	0.0275	0.0065	0.0339	0.0482	0.0139	0.0372
26	(控除)経常補助金	-0.0055	-0.0006	-0.0131	-0.0004	-0.0003	-0.0054	-0.0085	-0.0019	-0.0097	-0.0065	-0.0003	-0.0111	-0.0012	-0.0005	-0.0005	-0.0060
27	租付加価値部門計(21~26)	0.6638	0.4510	0.3899	0.3976	0.4895	0.4698	0.6097	0.7162	0.8366	0.3908	0.6953	0.7578	0.5984	0.5544	0.2961	0.6153
99	市内生産額(19+27)	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000

コ ド	産業部門	31 家計外消費 支出(列)	32 民間消費支 出	33 一般政府消 費支出	34 市内総固定 資本形成	35 在庫純増	36 市内最終需 要計 (31~35)	37 市内需要合 計(19+36)	38 輸移出計	39 最終需要計 (36+38)	40 需要合計 (19+39)	41 (控除)輸移 入計	42 最終需要部 門計 (39+41)	99 市内生産額 (19+42)
01	農林水産業	0.0048	0.0129	0.0000	0.0006	0.7710	0.0097	0.0188	0.1857	0.0504	0.0466	0.0189	0.0696	0.0570
02	鉱業	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0102	0.0000	0.0076	0.0071	0.0017	0.0075	0.0149	-0.0064	0.0047
03	生活関連製造業	0.1014	0.1374	0.0003	0.0119	0.0742	0.0714	0.0824	0.1073	0.0797	0.0866	0.2011	0.0057	0.0436
04	素材関連製造業	0.0148	0.0312	0.0000	0.0085	0.0493	0.0178	0.0675	0.0986	0.0365	0.0727	0.1648	-0.0418	0.0391
05	機械関連製造業	0.0669	0.0462	0.0000	0.1732	0.0586	0.0731	0.0792	0.2668	0.1178	0.1104	0.2334	0.0473	0.0643
06	建設	0.0000	0.0000	0.0000	0.8923	0.0000	0.1974	0.1369	0.0000	0.1517	0.1141	0.0000	0.2443	0.1569
07	電力・ガス・熱供給・水道	0.0003	0.0296	0.0034	0.0000	0.0000	0.0148	0.0277	0.0009	0.0116	0.0233	0.0012	0.0180	0.0316
08	商業	0.1003	0.1555	0.0000	0.0524	0.0260	0.0913	0.0923	0.1065	0.0955	0.0952	0.0907	0.0984	0.0968
09	金融・保険・不動産	0.0000	0.2731	0.0002	0.0000	0.0000	0.1301	0.1162	0.0012	0.1003	0.0970	0.0294	0.1435	0.1224
10	運輸	0.0284	0.0428	-0.0002	0.0037	0.0106	0.0221	0.0440	0.0694	0.0330	0.0482	0.0415	0.0278	0.0508
11	通信・放送	0.0116	0.0275	0.0000	0.0000	0.0000	0.0133	0.0170	0.0002	0.0103	0.0142	0.0369	-0.0059	0.0056
12	公務・公共サービス	0.0318	0.0780	0.9963	0.0000	0.0000	0.2488	0.1733	0.0018	0.1925	0.1447	0.0012	0.3092	0.1986
13	対事業所サービス	0.0023	0.0237	0.0000	0.0575	0.0000	0.0277	0.0751	0.0061	0.0227	0.0636	0.1112	-0.0313	0.0457
14	対個人サービス	0.6375	0.1421	0.0000	0.0000	0.0000	0.0815	0.0574	0.1453	0.0962	0.0721	0.0512	0.1237	0.0799
15	分類不明	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0046	0.0000	0.0000	0.0038	0.0037	-0.0023	0.0039
19	内生部門計(01~15)	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000

197-198

自給率シミュレーション資料

	自給率	アップ率
	0.1	1
	増減	増減後
農林水産業	0.671000	0.1 0.771000
鉱業	0.355000	0.1 0.455000
生活関連製造業	0.201000	0.1 0.301000
素材関連製造業	0.201000	0.1 0.301000
機械関連製造業	0.035000	0.1 0.135000
建設業	1.000000	1.000000
電力・ガス・熱供給・水道	0.986000	0.986000
商業	0.678000	0.1 0.778000
金融・保健・不動産	0.917000	0.917000
運輸	0.692000	0.1 0.792000
通信・放送	0.287000	0.1 0.387000
公務・公共サービス	0.998000	0.998000
対事業所サービス	0.515000	0.1 0.615000
対個人サービス	0.708000	0.1 0.808000
分類不明	0.734000	0.1 0.834000

資料編 (p 8)

この応募で使った経済波及効果シミュレーションは、青森県の「産業連関分析(波及効果計算)シート」を基にして、佐渡のデータを入れ替えたもの。この記事をすることで使用承諾を青森県から得ている。

経済波及効果の計算 (第2次波及効果まで)

(需要額が増減する場合 県内需要のみ)

目次へ戻る

産業	需要額(百万円)	投入係数 B	逆行列係数 F															第1次生産誘発額 E=A×B	相対価値増率 H	第1次相対価値増率 G=H×F	雇用者所得率 J=E×H	第1次雇用者所得率 I=J×H	平均消費性向 K	消費支出増加額 L=K×I	生産誘発係数 (民間消費支出) M	第2次生産誘発額 N=L×M	第2次相対価値増率 P=N×F	第2次雇用者所得率 Q=N×H	生産誘発額合計 R	従業者係数 S	第1次従業者誘発額 E×S	第2次従業者誘発額 K×S	雇用者係数 T	第1次雇用者誘発額 E×T	第2次雇用者誘発額 K×T	雇用者誘発額合計 U		
			農林水産業	鉱業	生活関連製造業	素材関連製造業	機械関連製造業	建設業	電力・ガス・熱供給・水道	商業	金融・保険・不動産	運輸	通信・放送	公務・公共サービス	対事業所サービス	対個人サービス	分類不明																					
合計	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

生産額

結果

生産誘発額

相対価値増率

雇用者所得率

従業者数・雇用者数

結果

従業者増加人数

雇用者増加人数

これは名目成長率の 0.00% に相当します。

経済波及効果の計算 (第2次波及効果まで)

(生産額が増減する場合)

目次へ戻る

産業	生産額(百万円)	逆行列係数 B	自部門の逆行列係数 D															第1次生産誘発額 E=A×D	相対価値増率 F	第1次相対価値増率 G=F×E	雇用者所得率 H	第1次雇用者所得率 J=H×G	平均消費性向 K	消費支出増加額 L=K×J	生産誘発係数 (民間消費支出) M	第2次生産誘発額 N=L×M	第2次相対価値増率 P=N×F	第2次雇用者所得率 Q=N×H	生産誘発額合計 R	従業者係数 S	第1次従業者誘発額 E×S	第2次従業者誘発額 N×S	雇用者係数 T	第1次雇用者誘発額 E×T	第2次雇用者誘発額 Q×T	雇用者誘発額合計 U		
			農林水産業	鉱業	生活関連製造業	素材関連製造業	機械関連製造業	建設業	電力・ガス・熱供給・水道	商業	金融・保険・不動産	運輸	通信・放送	公務・公共サービス	対事業所サービス	対個人サービス	分類不明																					
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

生産額

結果

生産誘発額

相対価値増率

雇用者所得率

従業者数・雇用者数

結果

従業者増加人数

雇用者増加人数

これは名目成長率の 0.00% に相当します。

経済波及効果の計算 (第2次波及効果まで)

(雇用者所得が増減する場合)

目次へ戻る

産業	所得増減額 A (百万円)	平均消費性向 B	第1次消費支出増減額 C=A×B	消費パターン															第1次生産誘発額 E=C×D	相対価値増率 F	雇用者所得率 G	第1次相対価値増率 H=G×F	第1次雇用者所得率 I=G×H	平均消費性向 K	第2次消費支出増減額 J=I×K	生産誘発係数 (民間消費支出) D	第2次生産誘発額 M=J×D	第2次相対価値増率 L=M×F	第2次雇用者所得率 N=L×H	生産誘発額合計 O	従業者係数 R	第1次従業者誘発額 E×R	第2次従業者誘発額 M×R	雇用者係数 S	第1次雇用者誘発額 I×S	第2次雇用者誘発額 N×S	雇用者誘発額合計 P
				農林水産業	鉱業	生活関連製造業	素材関連製造業	機械関連製造業	建設業	電力・ガス・熱供給・水道	商業	金融・保険・不動産	運輸	通信・放送	公務・公共サービス	対事業所サービス	対個人サービス	分類不明																			
合計	0.00	0.742	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

結果

生産誘発額

相対価値増率

雇用者所得率

従業者数・雇用者数

結果

従業者増加人数

雇用者増加人数

これは名目成長率の 0.00% に相当します。